

ブロックチェーンは、変革的なテクノロジーとして台頭しており、組織や政府サービスに多大な可能性、恩恵、影響をもたらします。多様な分野でのブロックチェーン技術の普及は私たちの生活を変えており、ブロックチェーンは暗号化とサイバーセキュリティにおける技術的ブレークスルーと見なされてきました。近年、学界と産業界の両方でブロックチェーンへの関心が高まっていますが、ブロックチェーンのセキュリティとプライバシーは、ブロックチェーンをさまざまなアプリケーションに展開する際の議論の中心であり続けています。したがって、この小特集号の目的は、科学コミュニティがセキュリティとプライバシーの分野で最新のアイデア、モデル、革新的なアプリケーションを探求する最先端の場を提供することです。2024年9月1日に公開される予定のこの特別セクションは、国際的な研究者が集まり、セキュリティとプライバシーの分野におけるブロックチェーンの理論、モデル、技術、及びシステムに関する研究成果を共有する場を提供します。

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ小特集「ブロックチェーンのセキュリティとプライバシー」では、この小特集のテーマに焦点を当てた、次の2つの国際会議からの拡張論文に加えて、それに限定しない一般論文も受け取ります。

- (1) The 5th International Workshop on Blockchain and Security (BlockchainSec2022), Zhangjiajie, China, November 15-18, 2022 (<http://ubisecurity.org/Blockchain/2022/>),
- (2) The Second International Conference on Ubiquitous Security (UbiSec 2022), Zhangjiajie, China, November 15-18, 2022 (<http://ubisecurity.org/2022/>).

上記の学会から優秀な論文を本小特集に推薦します。同時に、広く一般投稿も呼びかけ、個々の研究者に本小特集への投稿を積極的に呼びかけます。

## 1. 対象分野

本小特集は、以下のトピックス（限定されるものではありません）に関する論文を募集します：

- ・ブロックチェーンの新しいセキュリティモデルとアーキテクチャ
- ・既存システムへのブロックチェーン攻撃
- ・ブロックチェーンの認証と認可
- ・コンセンサスプロトコルのセキュリティ
- ・ブロックチェーンセキュリティにおける敵対的生成ネットワーク（GAN）
- ・スマートコントラクトの信頼できる実行
- ・耐障害性と ID 管理
- ・IoT セキュリティのためのブロックチェーンベースのソリューション
- ・ブロックチェーンを使用した GDPR 戦略、コンプライアンス、及び最適化
- ・デジタルフォレンジックにおけるブロックチェーン
- ・ブロックチェーンでの不正検出とフォレンジックのためのインテリジェントシステム
- ・安全なブロックチェーンアプリケーションのための革新的なアーキテクチャとプロトコル
- ・ブロックチェーンにおける脆弱性分析、脅威モデリング、及びリスク評価
- ・ブロックチェーンにおけるプライバシー保護
- ・ブロックチェーンにおけるユーザーのプライバシーの評価
- ・ブロックチェーンのプライバシーと信頼管理
- ・暗号プライバシー技術
- ・分散型台帳技術のプライバシーと信頼
- ・プライバシー強化技術、匿名性、及び検閲
- ・プライバシーの指標とポリシー
- ・スマートコントラクトのプライバシー保護
- ・オンチェーンのプライバシー

## 2. 論文の執筆と取り扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。
- ・ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注

意下さい。詳細は Information for Authors ([https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

- Web による電子投稿のみ受け付けます。 [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) より登録を行って下さい。
- 初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-BC] Security and Privacy in Blockchain を選択して下さい。 [Regular-ED] を決して選択しないで下さい。
- Web による電子投稿の際, “Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。

### 4. 重要な締め切り日

(1)	論文投稿締切日	2023年9月1日(着, 厳守)
(2)	第1回判定通知	2023年12月7日
(3)	修正原稿の提出	2024年2月9日
(4)	最終採録の通知	2024年3月10日
(5)	掲載料支払い	2024年6月15日
(6)	原稿の校正	2024年7月15日
(7)	出版	2024年9月1日

### 5. 問合せ先

Yaokai Feng (フォン ヤオカイ) (編集幹事)

九州大学大学院システム情報科学研究情報知能工学部門

E-mail : [fengyk@ait.kyushu-u.ac.jp](mailto:fengyk@ait.kyushu-u.ac.jp)

### 6. 通知

受理された場合, 招待論文の著者を含む全ての著者は, 掲載費用の一部をカバーするページ料金の支払いを求められることに注意して下さい。著者は, 支払いが完了するまで原稿が出版のために保留されることに注意する必要があります。ページ料金については, [https://www.ieice.org/eng/shiori/appb\\_iss.pdf](https://www.ieice.org/eng/shiori/appb_iss.pdf) を御覧下さい。

### 6. 小特集編集委員会

編集委員長 櫻井幸一 (九州大学, 日本)

編集幹事 Saqib Ali (University of Agriculture, Faisalabad), Guojun Wang (広州大学, 中国), Yaokai Feng (九州大学, 日本)

リエゾン委員 栗林 稔 (岡山大学, 日本),

編集委員 Santoso Bagus (University of Electro-Communications), Aniello Castiglione (University of Naples Parthenope), Arcangelo Castiglione (University of Salerno), Jiageng Chen (Central China Normal University), Chen-Mou Cheng (BTQ AG), Yinglong Dai (Hunan Normal University), Sabyasachi Dutta (University of Calgary), Haroon Elahi (Umeå University), Richard Hill (University of Huddersfield), Jie Hu (University of Electronic Science and Technology of China), Wenjun Jiang (Hunan University), Georgios Kambourakis (University of the Aegean), Constantinos Koliass (University of Idaho), Minoru Kuribayashi (Okayama University), Mario Larangeira (Input Output and Tokyo Institute of Technology), Kuan-Ching Li (Providence University), Ruidong Li (Kanazawa University), Anfeng Liu (Central South University), Qin Liu (Hunan University), Xiangyong Liu (Guangzhou University), Matsume Matsusaki (University of Nagasaki), Sancheng, Peng (Guangdong University of Foreign Studies), Tao Peng (Guangzhou University), Yizhi Ren (Hangzhou Dianzi University), Seong Han Shin (AIST), Yoshiaki Shiraishi (Kobe University), Chunhua Su (University of Aizu), Haowen Tan (Zhejiang Sci-Tech University), Feng Wang (China University of Geosciences), Tian Wang (Huaqiao University), Yulei Wu (University of Exeter), Yang Xu (Hunan University), Naoto Yanai (Osaka University), Chung-Huang Yang (National Kaohsiung Normal University), Wenyin Yang (Foshan University), Deze Zeng (China University of Geosciences)

### 7. 付記

- 締切日を厳守して下さい。
- 論文採録の場合は, 招待論文も含め掲載料が必要となりますので, あらかじめ御了承下さい。

- ・招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2024年5月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2024年6月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- ・投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧ください。 [https://www.ieice.org/jpn\\_r/member/join.html](https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html)
- ・オープン化：2008年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dの論文は、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開されています。 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf>